

北海道医療大学保健管理センター年報 第5号(2012年)

Annual Report of Health Counseling and Assessment Center

Vol.5 (2012)



北海道医療大学
Health Sciences University of Hokkaido

保健管理センター年報第5号発行にあたって

北海道医療大学 学長 新川 詔夫*

平成24年度「保健管理センター年報第5号」が刊行されました。これはこれまでのセンター業務実績とともに問題点や今後の課題などをまとめたもので、センター所長や副所長をはじめ、保健師・看護師、学生相談室の相談員たちの日頃のご尽力の賜物です。

北海道医療大学保健管理センターは本学の学生および教職員の健康管理や健康相談などの重要な業務を担っています。近年は学生の健康診断受診率は低下傾向にある一方で、センター自体の利用者は増加しております。また、幼少時のワクチン未接種のためか数年前頃からムンプスや麻疹などの感染症が発生したという問題や、また学生の心と身体的な悩みやストレスなどの相談などの増加もみられます。これらは全国的な問題ですが、本学の保健管理センターではスタッフの献身的な支援によって、日々解決に向かっております。

学生中心の教育と患者中心の医療の推進が本学の行動指針であります。本学学生と教職員が健康でかつ安心して大学生活を送ることができるように、今後もセンターのスタッフ共々皆さんの一層の協力をお願いしてご挨拶いたします。

*E-mail : niikawa@hoku-iryo-u.ac.jp

北海道医療大学保健管理センター年報（第5号）

第5号年報発行にあたって ----- 学長 新川詔夫

I	保健管理センター利用状況の推移（平成19年度～23年度）	
	1. 年度別利用状況 -----	1
	2. 月別利用状況 -----	2
II	平成23年度保健管理センター利用状況	
	1. 学部・月別等利用状況 -----	3
	2. 学年・内容別等利用状況 -----	4
III	保健管理センターに関する所感	
	保健師・看護師 -----	5
	学生相談室：学生相談員 -----	7
IV	保健管理センター運営委員会より	
	保健管理センターの精神衛生業務雑感 -----	11
	保健管理センターの精神衛生業務雑感 -----	13
V	学生健康診断受診状況の推移（平成19年度～23年度）	
	1. 年度別受診率 -----	15
	2. 学部別・検診別受診状況 -----	16
VI	平成23年度学生健康診断受診状況	
	1. 学部別受診状況 -----	19
	2. 学年・検診別受診状況 -----	20
	3. 有所見者状況 -----	23
	4. 血液検査有所見者状況 -----	24
	5. 血液・感染症検査状況 -----	25
	6. 健康診断等の実施対象 -----	26
VII	平成24年度保健管理センター概況 -----	27
VIII	保健管理センター構成員 -----	28
IX	保健管理センター関連規程集 -----	29
X	保健管理センター所長から -----	33
XI	保健管理センター業務案内 -----	34

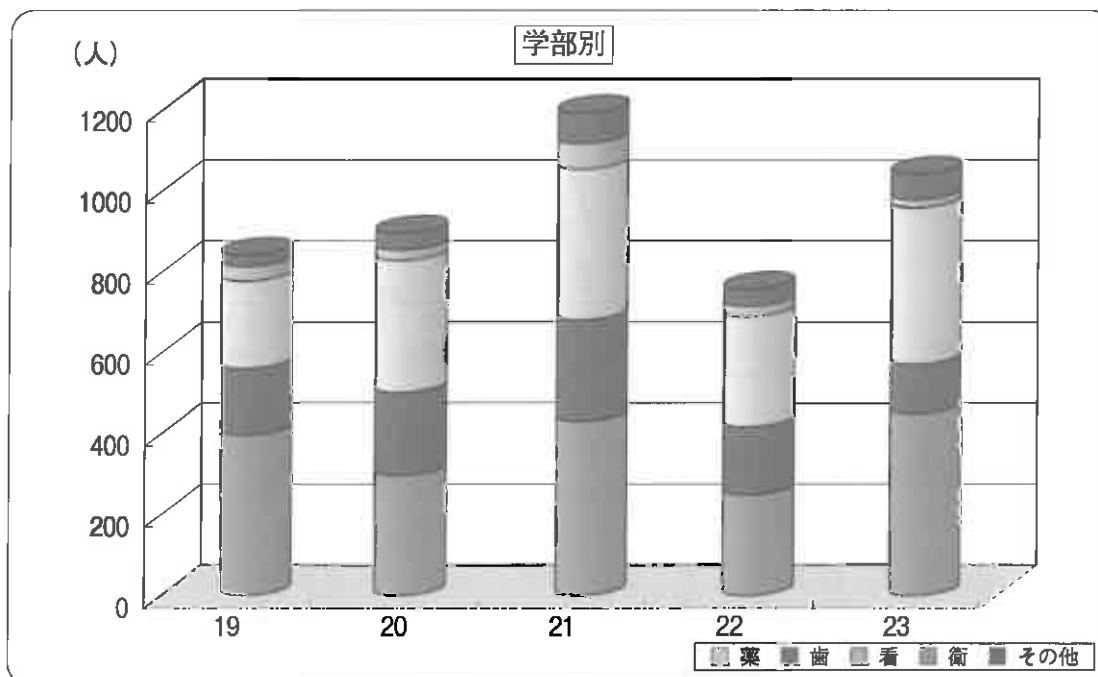
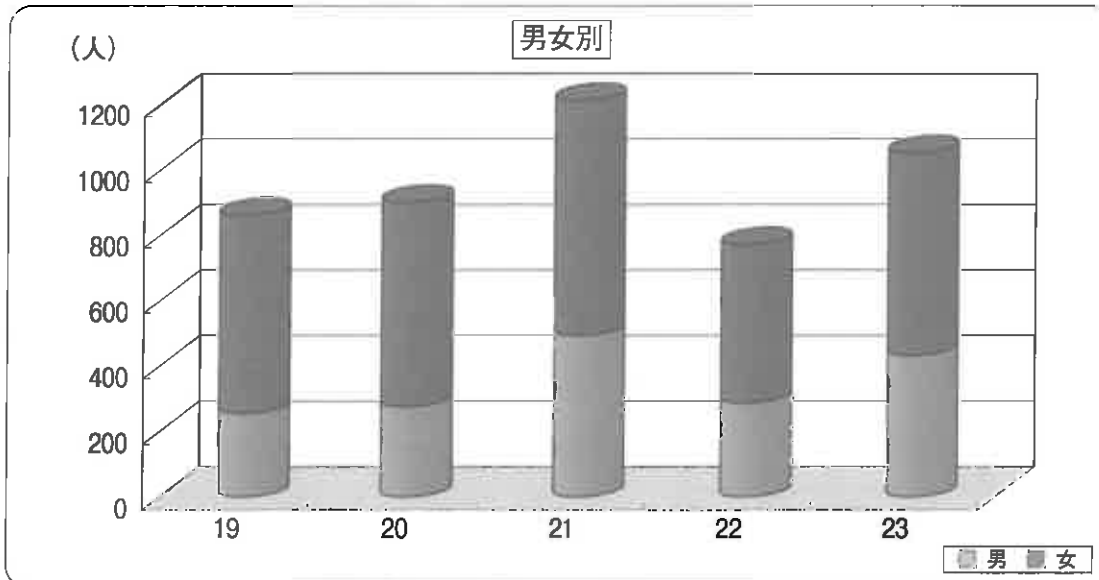
○保健管理センター利用状況の推移 (平成19年度～23年度)

1. 年度別利用状況

(人)

年度	男女別			学部別						開所 日数	1日 平均	1月 平均	備考
	男	女	計	薬	歯	看	衛	その他	計				
19	236	597	833	395	143	230	34	31	833	184	4.5	75.7	
20	248	623	871	296	177	346	17	35	871	190	4.6	79.2	
21	459	729	1188	409	239	388	63	89	1188	181	6.6	99.0	(再) 317
22	249	501	750	240	162	269	18	61	750	184	4.1	68.2	
23	418	615	1033	435	127	395	13	63	1033	186	5.6	86.1	(再) 164

(再)は電話対応の再掲

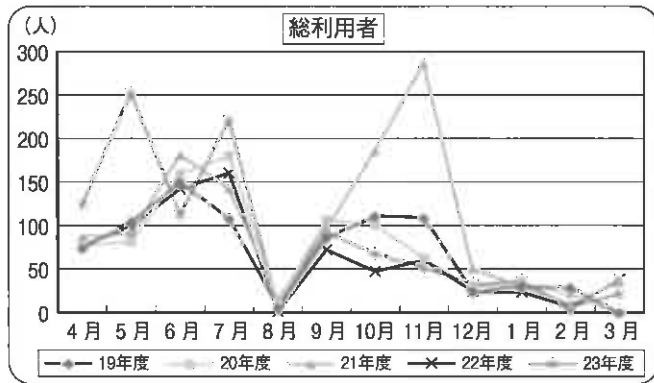


薬＝薬学部
 歯＝歯学部
 看＝看護福祉学部
 衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

2. 月別利用状況

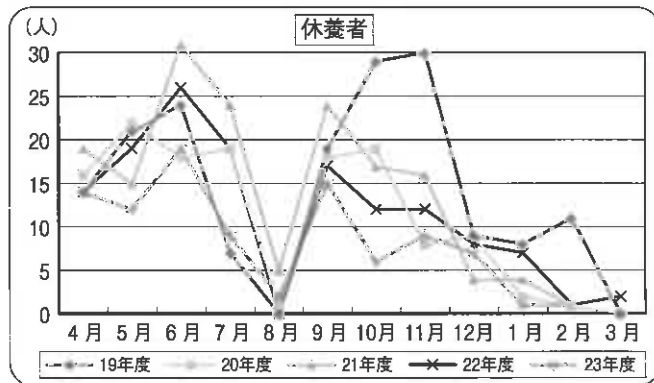
(1) 総利用者 (人)

月	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	74	78	88	78	125
5月	105	82	92	99	253
6月	150	160	182	142	113
7月	108	181	143	160	222
8月	6	13	16	1	8
9月	86	107	97	72	93
10月	111	102	186	47	68
11月	109	63	287	60	52
12月	24	30	51	24	33
1月	31	33	31	23	37
2月	29	22	10	6	7
3月	0	0	36	38	22
計	833	871	1219	750	1033



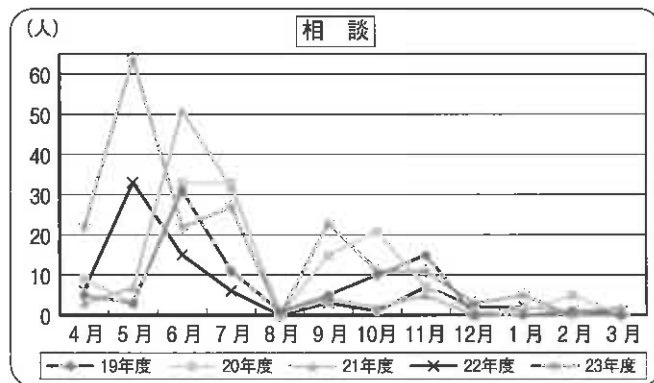
(2) 休養者 (人)

月	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	14	16	19	14	14
5月	21	22	15	19	12
6月	24	18	31	26	19
7月	7	19	24	19	9
8月	0	1	5	0	2
9月	19	18	24	17	15
10月	29	19	17	12	6
11月	30	8	16	12	9
12月	9	9	4	8	7
1月	8	2	4	7	1
2月	11	1	1	1	1
3月	0	0	0	2	0
計	172	133	160	137	95



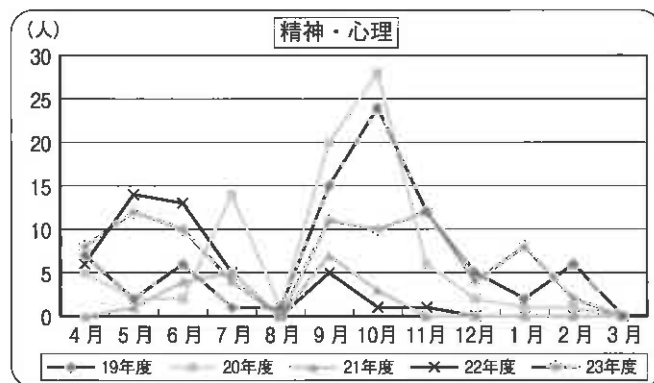
(3) 相談 (人)

月	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	5	9	3	6	22
5月	3	3	7	33	64
6月	31	33	51	15	22
7月	11	33	32	6	27
8月	1	0	1	0	0
9月	5	15	4	3	23
10月	10	21	2	1	11
11月	15	7	5	7	11
12月	0	1	0	2	3
1月	0	1	2	2	5
2月	1	5	1	1	0
3月	0	0	2	1	0
計	82	128	110	77	188



(4) 精神・心理 (人)

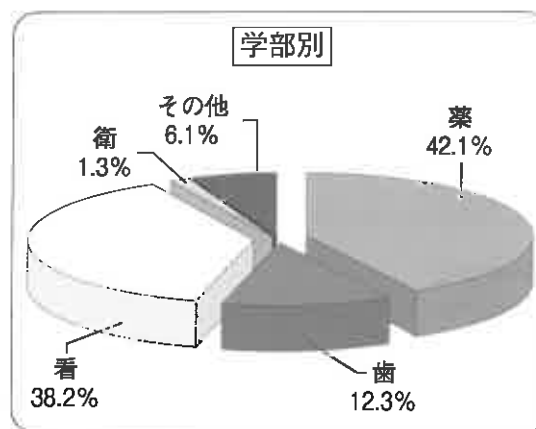
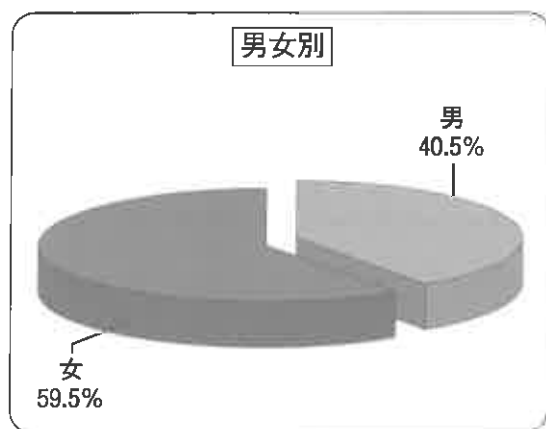
月	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	7	5	0	6	8
5月	2	2	1	14	12
6月	6	2	4	13	10
7月	1	14	5	5	4
8月	1	1	0	0	0
9月	15	20	7	5	11
10月	24	28	3	1	10
11月	12	6	0	1	12
12月	5	2	0	0	4
1月	2	1	0	0	8
2月	6	1	0	0	2
3月	0	0	0	0	0
計	81	82	20	45	81



○平成23年度保健管理センター利用状況

1. 学部・月別等利用状況

月	男女別			学部別						開所日数	1日平均
	男	女	計	薬	歯	看	衛	その他	計		
4月	62	63	125	49	15	49	1	11	125	20	6.3
5月	100	153	253	118	27	99	1	8	253	19	13.3
6月	28	85	113	46	26	33	1	7	113	21	5.4
7月	97	125	222	78	23	110	6	5	222	20	11.1
8月	6	2	8	3	4	1			8	3	2.7
9月	31	62	93	39	14	35	1	4	93	20	4.7
10月	26	42	68	35	10	19	1	3	68	19	3.6
11月	26	26	52	27	2	19	1	3	52	20	2.6
12月	12	21	33	24		7		2	33	11	3.0
1月	17	20	37	12	3	21	1		37	16	2.3
2月	4	3	7	3	2			2	7	7	1.0
3月	9	13	22	1	1	2		18	22	10	2.2
計	418	615	1033	435	127	395	13	63	1033	186	5.6



薬＝薬学部
 歯＝歯学部
 看＝看護福祉学部
 衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

2. 学年・内容別等利用状況

(人/延数)

	1		2		3		4		5		6		大学院		他		小計		計	学部別				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		薬	歯	看	衛	他
内科系	風邪症状	10	12	9	10	8	4	7	8	1	6	2			1	8	42	44	86	49	9	18	1	9
	消化器系		4	1	5	3	8	2	6		1	1	3					7	27	34	21	4	9	
	循環器系															13		13	13					13
	頭痛		4	2	2	1	6	2	7	1		3			1		7	22	29	16	4	8		1
その他	3	10	3	11	2	2	3	6		1	5			5		21	30	51	33	6	6	1	5	
外科系	切傷他	2	5	5	2	1	5	7	8		2	1	2		1		20	21	41	20	7	11	2	1
	打撲他	5	4	3	5	3	3	1	1		1						12	14	26	16	3	7		
	筋肉痛他		8		1	2	1			1	1	2					5	11	16	7	2	5	2	
	皮膚科系		3	2	1	1		7	1			2			2		10	9	19	5	8	4		2
その他		2		2	3	1		1			1					3	7	10	5	1	4			
精神・心理相談		25	3	19		6		1			26			1		30	51	81	45		36			
他	生理痛		10		2		3		12		7		2				36	36	18	9	8	1		
	検査結果	56	83	17	41	22	19	55	60	3		3	3	3	3	1	159	210	369	114	50	195	6	4
	身体検査票	1		2			3	9	3	1		5	2	1		1	19	9	28	5	8	14		1
	その他	55	84		12	3	7	3	9						9	12	70	124	194	81	16	70		27
小計	132	254	47	113	49	68	96	123	7	11	50	19	6	3	31	24	418	615	1033	435	127	395	13	63
処遇	ベット休養	2	18	10	13	7	12	6	18		1	4	1		2	1	31	64	95	49	10	32	1	3
	与薬	8	18	9	10	6	13	7	21	2	7	14	8		2	1	48	78	126	77	18	26	2	3
	処置	16	27	16	22	16	9	16	14	2	4	14	4	2	17	8	99	88	187	92	25	41	4	25
	他機関受診	1	1	3	6			1	1								5	8	13	10		3		
	他機関受診勧奨	7	30	6	12	1	3	3	7			2			1	1	20	53	73	29	2	39	1	2
	相談	19	47	6	34	8	12	24	17	2		14			5		78	110	188	88	18	70	5	7
	学生相談	1			1		2										1	3	4	3		1		
	その他	16	32	10	42	15	14	33	42	2	2	8	3		3	1	6	85	144	229	65	33	121	3
電話対応	54	82	1	1		2	1	5	1					6	11	63	101	164	70	15	54		25	

薬＝薬学部

歯＝歯学部

看＝看護福祉学部

衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

保健管理センターに関する所感

長谷川純子¹ 黒田なをみ²

¹北海道医療大学 保健管理センター 保健師

²北海道医療大学 保健管理センター 看護師

大学の保健管理も、ここ数年大きく変化してきています。平成19年の麻疹の流行に始まり、小児感染症に対する対策が必要になりました。

多くの学生が病院・施設等での実習が必須科目の本学では、以前から実施していた看護福祉学部に加え、平成20年には全学生、平成21年からは新生入生に小児感染症の抗体検査を実施し、必要な学生にはワクチン接種を勧奨し、実習への備えをしています。

学生の実習先の病院や施設からの抗体値の問い合わせや、資料の提出も数多く求められるようになりました。実習先によっては、求められる抗体価以下の場合実習ができないといわれるようにまで、要請が厳しくなっている状況です。

そのような中、当の学生たちの自覚は薄いといわざるを得ません。各自の検査結果をチェックし、必要なワクチン接種を受け、抗体検査の再確認をしてデータを保管し、求めに応じてデータを提示できるようにしておかなければならないことを、ガイダンスや検査結果配布時に繰り返し説明していますが、データの再発行者が後を絶ちません。

また、実習先からも、大学としての対応を求められています。これまでの学生個別での対応から（データの再発行など）、大学としての対応（保健管理センター名で、実習施設宛に実習生全員の検査データを提出）という傾向に変化してきています。

H25年度からは新学部設置により、毎年学生数が増加し、3000人を超えます。データ入力や接種必要なワクチンのチェックなど、これまでのような手作業ではヒューマンエラーが生じないとも限りません。大学としてのデータ管理が必要で、何か新しいシステムによる対応の時期に来ているのではないかと感じています。例えば、

- ① 分の血液データや、ワクチン履歴、抗体価などをウェブで個別に見られるようにする。健康診断結果も含まれることが望ましい。
- ② 在学中のデータ管理のため健康手帳（結果を添付、記載できる）の配布
- ③ 各学部の実習担当教員が必要に応じてデータを確認できるシステム など

¹E-mail : j-hase@hoku-iryo-u.ac.jp

²E-mail : evian@hoku-iryo-u.ac.jp

また、学生の健康管理として、毎年実施している健康診断も含めたデータの一元化が必須の時代と思われます。同時に、結果の個人通知という点においても問題です。血液検査は全員に個別通知されていますが、内科検診やレントゲン検査については二次健診の必要者のみの呼び出しての周知のみの現状です。平成18年12月の文部科学省の通達文書の後、多くの大学では全員に通知されています。このような状況も含めて、健康診断や各種検査の更に適切なデータ管理が必要と感じているところです。



(当別キャンパス全景)

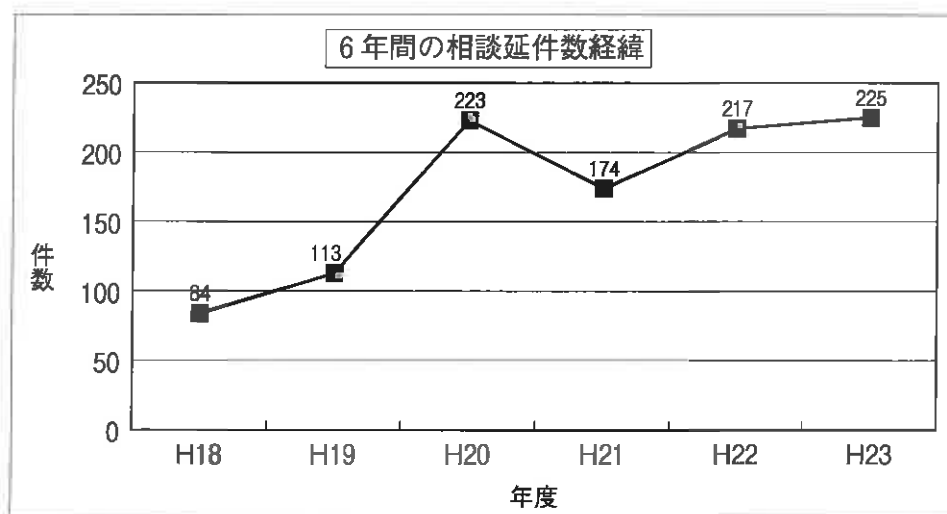
学生相談室 6年間の経緯

根本大輔¹ 森近美智恵²

北海道医療大学 保健管理センター 学生相談室 学生相談員／
臨床心理士

北海道医療大学保健管理センターに位置づけられる学生相談室は、平成18年（2006年）4月に開設され、6年が経過した。以下にこれまでの推移と平成23年度の利用状況を報告する。

◎学生相談室 6年間の経緯



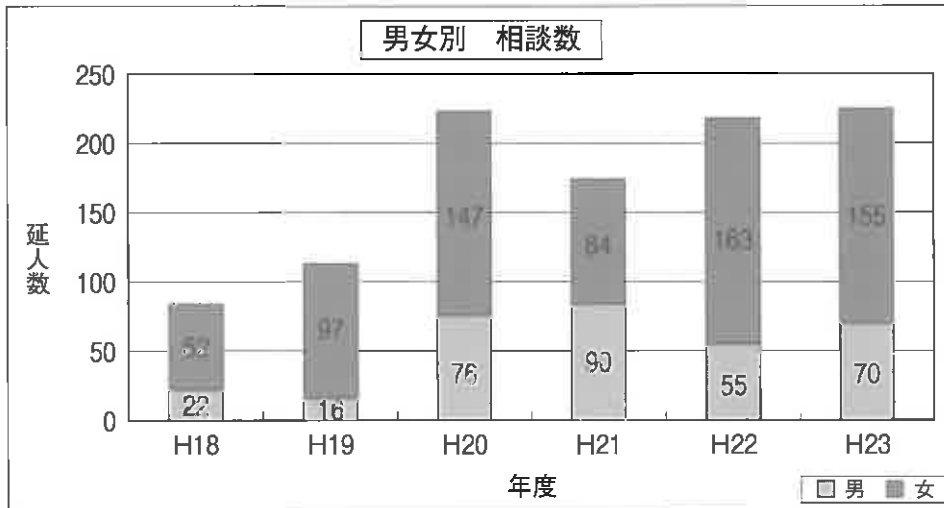
<参考> 実人数

実人数	あいの里	当別	合計
H18	22名	4名	26名
H19	9名	10名	19名
H20	16名	10名	26名
H21	11名	8名	19名
H22	29名	23名	52名
H23	28名	25名	53名
合計	115名	80名	195名

¹ E-mail : nemotodd@hoku-iryo-u.ac.jp

² E-mail : mmichie@hoku-iryo-u.ac.jp

◎男女別相談延べ件数（年度別）

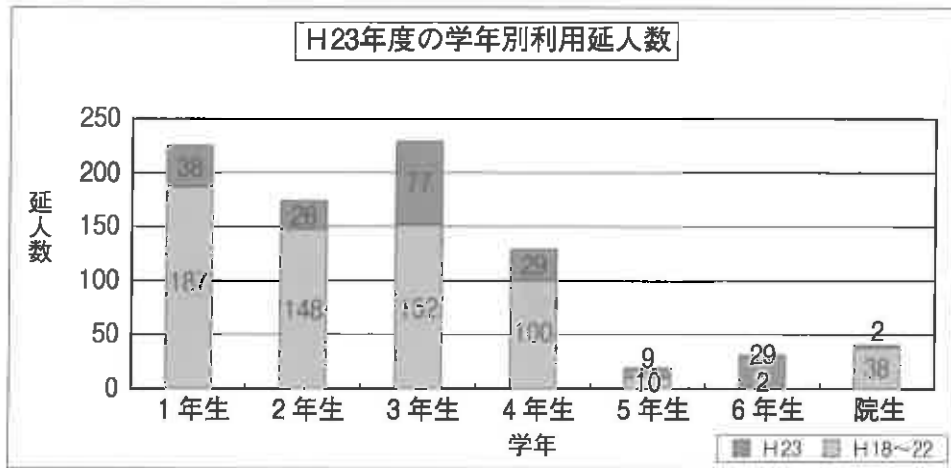


◎相談内容別 相談延べ件数（年度別）

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	総数
友人関係	25	20	59	25	26	19	174
家族関係	7	6	8	13	15	4	53
異性関係	4	4	8	2	5	11	34
ハラスメント	1	0	0	0	0	0	1
学習・進路	11	11	22	21	25	23	113
精神・神経疾患(疑)	20	59	88	57	79	49	352
発達障がい				0	15	5	20
日常生活	9	2	3	5	8	15	42
その他	7	11	35	51	55	99	258

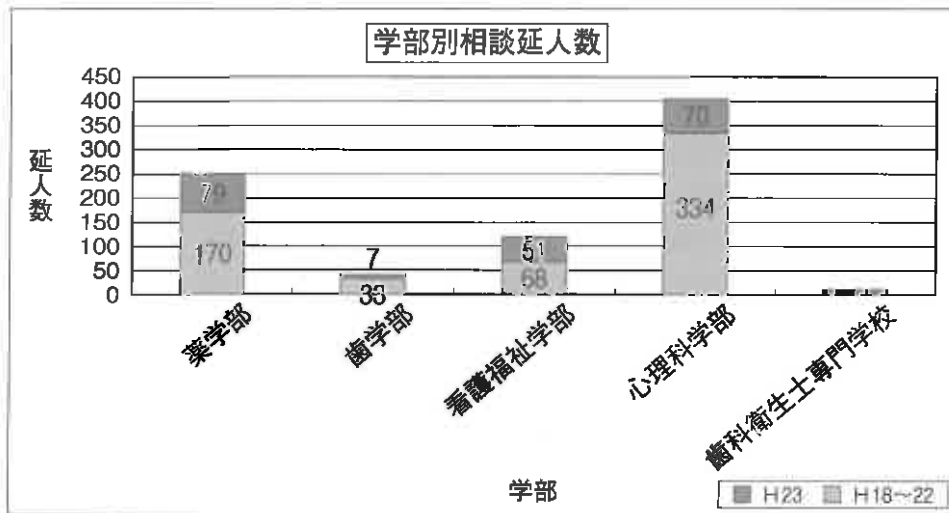
精神疾患あるいは神経症圏の疾患（疑）による相談が、例年同様、高い水準にあるが、できるだけ早い段階で医療機関へ受診やリファーすることによって、必要以上に相談回数を積み重ねることを防ぐ要因となったものと推察される。また発達障がい（疑）は例年と比較し件数が多くなっている。

◎学年別 相談延べ件数



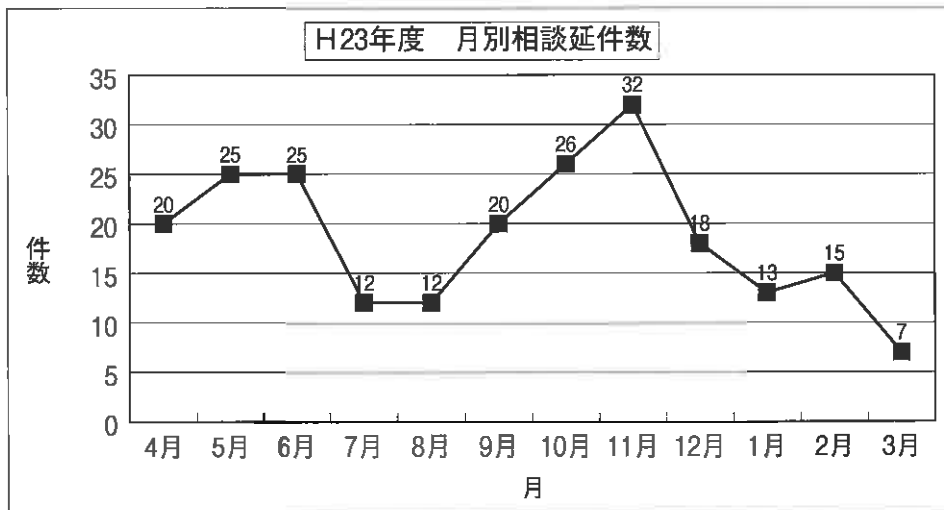
学年別相談延べ件数は、過年度比で6年生の利用件数に大幅な増加が見られた。これは、国家試験を控え不安や緊張が高まった学生が、その様な状態への対処や緩和を目的として頻回に相談室を利用するケースが複数見られたことに起因している。また、大学生活に慣れ、今後の進路を考えなければならない3年生の利用件数が多いことについても、例年通りの傾向と言える。

◎学部別 相談延べ件数



学生相談室は、薬学部棟（当別キャンパス）と心理科学部棟（あいの里キャンパス）の中にそれぞれ設置されていることから、物理的に両学部の学生にとっては、学生相談室の存在を認識しやすく、また活用しやすい環境にある。

◎月別 相談延べ件数



1年を通して、相談延べ件数は11月が最も多くなっている。学期半ばとなり、学業や人間関係などで蓄積した疲労や倦怠感が生じやすくなる時期の来談が多いようである。そして、ある程度時間的な区切りが見えてくる夏季・冬期休業や国家試験の直前になると、来談数が減少していくことから、相談室の利用状況が各学部のカリキュラムやスケジュールの影響を受けやすいということが考えられる。

◎まとめ

学生相談室が開室してから6年が経過し、少しずつではあるが、学内及び学生の中での認知度は上がってきている。しかし、学生相談室の開室日は各キャンパスで2日間ずつ（9時～17時）であるため、学生が必要とする時にサポートや支援が行えないというきらいはある。特に当大学の授業スケジュールは過密であるため、潜在的に「相談室を利用したくても利用できない」という学生が存在している可能性も十分に想定される。今後、全ての学生にとって利用しやすい相談体制づくりはもちろんであるが、現状の限られた条件の中でも、各学部の教員や職員との連携、相談ツールなどを含めた検討事項は残されている。



保健管理センターの精神衛生業務雑感

中川賀嗣*

北海道医療大学 保健管理センター 運営委員

北海道医療大学 心理科学部言語聴覚療法学科 教授

本年4月に当別キャンパス勤務からあいの里キャンパス勤務に配置換えとなり、それに伴って保健管理センター運営委員に任命された中川です。専門は神経精神医学、神経心理学（高次脳機能障害学）です。本学赴任前には、2大学にまたがって専任3年、兼任5年、精神衛生に関する保健管理業務に従事しておりました（運営よりも実務が主でした）。どうかよろしく願います。

さて精神衛生に関わる諸問題を抱える学生が、最近特に目立つように思います。これは全国のどの大学にとっても同じで、大学側、あるいは保健管理センターは、こうした精神衛生上の諸問題を抱える学生に対して、今後明確な形で対応して行くことが要求されるものと推察されます。本学の場合、学部の新設による学生数の増加によって、大学の規模が拡大する時期であり、直近の問題ではないにしても、特に念頭に置く必要がある話題かもしれません。そこでここでは、本学の現在の方向性とは別に、一般的な保健管理センターの精神衛生的対応の可能性について、すこし覗いてみたいと思います。

まず本学保健管理センター（ホームページを参照）は、その目的として2つの業務・役割を掲げています。1つは保健管理業務であり、具体的には学生や職員に対する健康診断等の保健管理業務、健康に対する学内の環境保全と調査研究、内科的応急措置などです。もう一つは健康相談業務であり、具体的には身体的な健康上の相談と、精神衛生上の相談への対応です。すなわち本学の場合、精神衛生に関する対応としては、医学的介入までは行わず、相談業務の範囲で行なわれていると思われれます。この業務には臨床心理士があたり、週に2回実施されています。大学の規模からみると必要かつ十分な体勢であるように思います。

学生にとって気軽に「ちょっと休める場所」、「ちょっと相談できる場所」があることは円滑な学生生活をおくる上で、大変有用であると思います。精神衛生的な面についても同じだと思います。しかし、もし従来の精神衛生上の相談業務を超えて、さらに簡単な医療的サービスを加えて行なおうとすると、人材の確保やコストといった問題以外にも、種々の考慮すべき点が新たに出てきます。

もしこうしたサービスが追加されるとしたら、確かに多くの学生にとっては大学で学業に専念しながら、簡単な医療的補助が受けられ、また大学にとっては学外の医療機関との橋渡し役を果たせるはずですが、しかしそれとともにどちらの目論みとも反対の結果を招く可能性があるともいえそうです。1つには単位や休学の判断など、学生に対する各処遇に、どこまで業務内容を反映させるか、させないかといった問題が生じるかもし

れません。これは、保健管理センターがどこまで学生の精神的状態に関して判断をするのかといった問題や、あるいは学内でどこまで個人情報共有する、しないという問題にも関連します。相談業務にとどめておけば、こうした問題は大きくはないでしょう。また1つには学生が学外の医療機関を受診するタイミングを逸してしまう可能性があります。学生の様子を見ているうちに学生自身がさらに調子を崩して、医療機関を受診できない（病院に行くことができない）状況が生じるなどです。これらはもちろん内科的疾患についても言えることですが、精神的な事象の場合には、客観的な判断基準よりも、学生自身の意思が重要であることが多く、そのために保健管理センターにとってかえって悩ましい状況が生じうることも予想されます。

こうした懸念を超えて、もしより充実したサービスを学生に提供できるようになるには、学生本人、教員、学外の医療機関、ご家族とは立場を異にしながら、保健管理センターがどんな役割を担うのかを明確に示す必要があるでしょう。そしてこれまで以上に密接な連携を相互にとっていく必要が生じると思われます。精神衛生に関する業務については、こうした事項も各大学の状況に応じてふまえながら、こまめにみなおしていく必要があるのかもしれない。



（あいの里キャンパス全景）

保健管理センターの精神衛生業務雑感

森 伸幸*

北海道医療大学 保健管理センター 運営委員

北海道医療大学 心理科学部臨床心理学科 准教授

今年度より保健管理センター運営委員を務めさせていただくことになりました。保健管理センター運営委員は初めて担当するのですが、他大学において臨床心理士として非常勤で学生相談を行っていたことがあり、そのときにその大学の保健管理センターの会議などに出席する機会があり、大学の保健管理業務について考えを巡らせたことがあります。

たとえば、自分が大学に入学したころに感じた疑問に、「大学は学問をする場であるのに部活などを大学がサポートしているのはどうしてだろう？」ということがあります。学生の相談を受けているうちに、部活などで人間関係を作ってくれればメンタルヘルスとしては良い影響があるということを感じ、その意味を理解するようになりました。不調のサインを出していても誰もキャッチしてくれる人がいなかったり、困ったときに助けてくれるどころか相談できる人もいなかったりでは、健やかな学生生活を送るのは難しいでしょう。したがって、これだけが理由とは言いませんが、大学がサークル活動を支援することによって学生のメンタルヘルスを高めるという意味があるわけです。

大学生には入学してサークルなどの新入生勧誘があるなど人の関係ができるシステムが伝統的にあります。一方で、大学院生が大学で人間関係を作るシステムはほとんどありません。全国的に大学院生が増え、大学というシステムが変化しているのですが、それに応じてこの点は変化していないわけです。

しかしながら、最近の学生は希薄な人間関係に慣れており、またそれを望んでもいると思われれます。昔だったら友人に相談したようなことを相談室に相談に来る学生も珍しくありません。他大学から入学した大学院生と話していたところ、「大学の先生とこんな話をしたのは初めて」と言われ驚いた経験があります。世間話や日常生活の話をしていたのですが、そういった話を大学の教員とするのに違和感があつたようです。また、「この大学の先生は距離が近いですね」と少し迷惑そうに言われたこともあります。本学では余計な人間関係に煩わされるよりも資格を取るために勉強をした方がいいというように考える学生がいても不思議ではありません。この大学では周囲にいるのはライバルばかりなのですから、「友人関係は外部で作った方が楽だ」と感じるのも頷けます。

大学進学率が低かったころは大学には選ばれた人しか来られなかったと言えますが、現代では普通の人々が大学に来る時代です。したがって入学してくる学生もかなり変化しています。必ずしも受験における競争が良いとは思いませんが、やはり競争が激しいと

*E-mail : n-mori@hoku-iryo-u.ac.jp

ストレスに強い人が残るわけですし、現在はストレスにかなり弱い人も入学してきているのが現状だと思います。

カウンセラーの倫理規定にクライアントに二重の関わりをしてはいけないというものがあります。私は、それほど多くはないのですが、学生から「先生は臨床心理をやっているんだから、わかるでしょ」と言われることを経験してきました。たとえば、レポートを締め切りまでに出せないときにそれなりの事情があることを聞かされ、さすがに考慮せざるを得ないときもありますが、微妙な感じがしているときにこのように言われるわけです。しかし、いくら事情があってもダメと言わざるを得ないときもあります。相談業務しか担当していないのだったらこのような矛盾は生じませんが、教育において指示をしたり評価をしたりするときは、あたかも相談を受けているように言われると矛盾が生じ、その矛盾を衝いてこられると困ることになります。二重のかかわりを避けるというのはそのような矛盾を避けることが倫理として求められるということです。また、この倫理規定に照らせば、学生相談を教員が兼務しないということも当然だということになります。

ストレスを与える教育というものと保健管理というのは矛盾する面もありますが、ストレスに弱い学生が多くなっている現状ではだんだんこのような状況に遭遇することが増えてきているように感じています。風邪をひいたら勉強なんかしないで家で寝ていた方がいいのですが、非常に免疫力が低い学生がいたとしたら、健康の管理と勉学との両立も考えてあげなければならず、常識的な対応では済まなくなります。昨今ではメンタルな面に関しては入学する学生の変化に伴ってこのような状況が増えていると言えます。

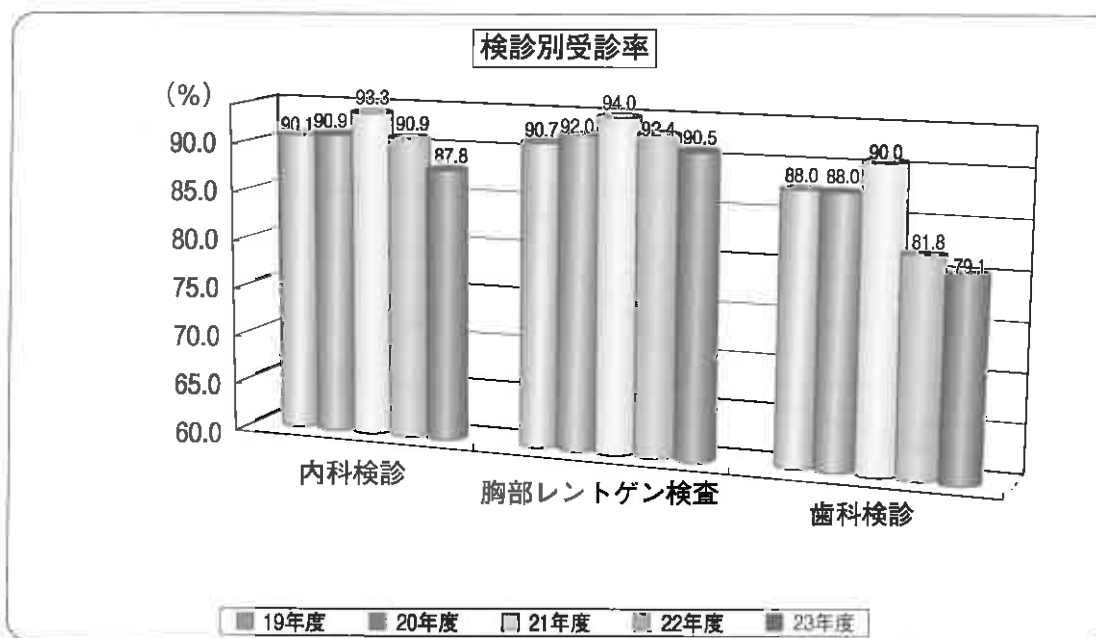
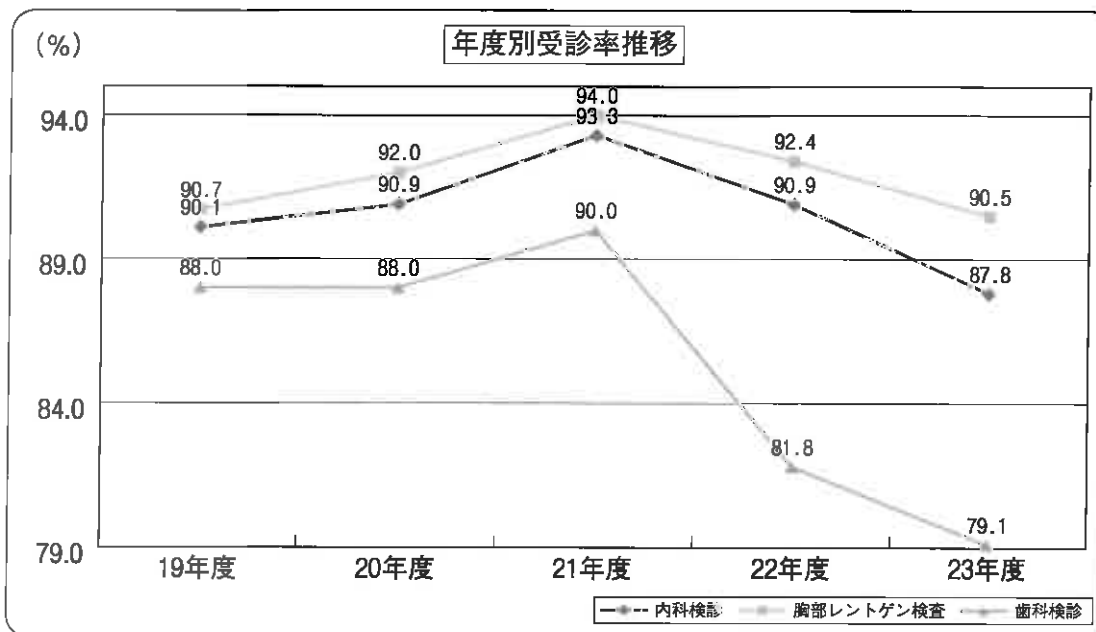
大学の教員としていろいろな職務を遂行しているとその狭間でジレンマに陥ってしまうことも多く、毎日悩みながら過ごしています。学生が心身ともに健やかに過ごすことが、教育へも良い効果を及ぼすのが理想といえますが、そうなるように少しでもお役に立てればと考えております。

○学生健康診断受診状況の推移 (平成19年度～23年度)

1. 年度別受診率

(%)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
内科検診	90.1	90.9	93.3	90.9	87.8
胸部レントゲン検査	90.7	92.0	94.0	92.4	90.5
歯科検診	88.0	88.0	90.0	81.8	79.1

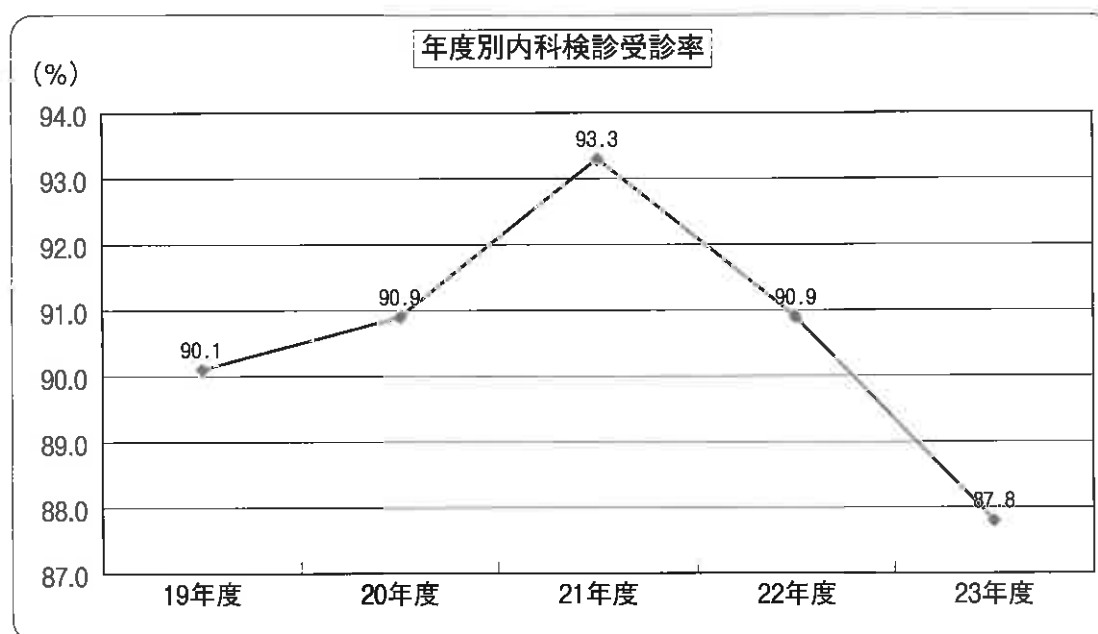
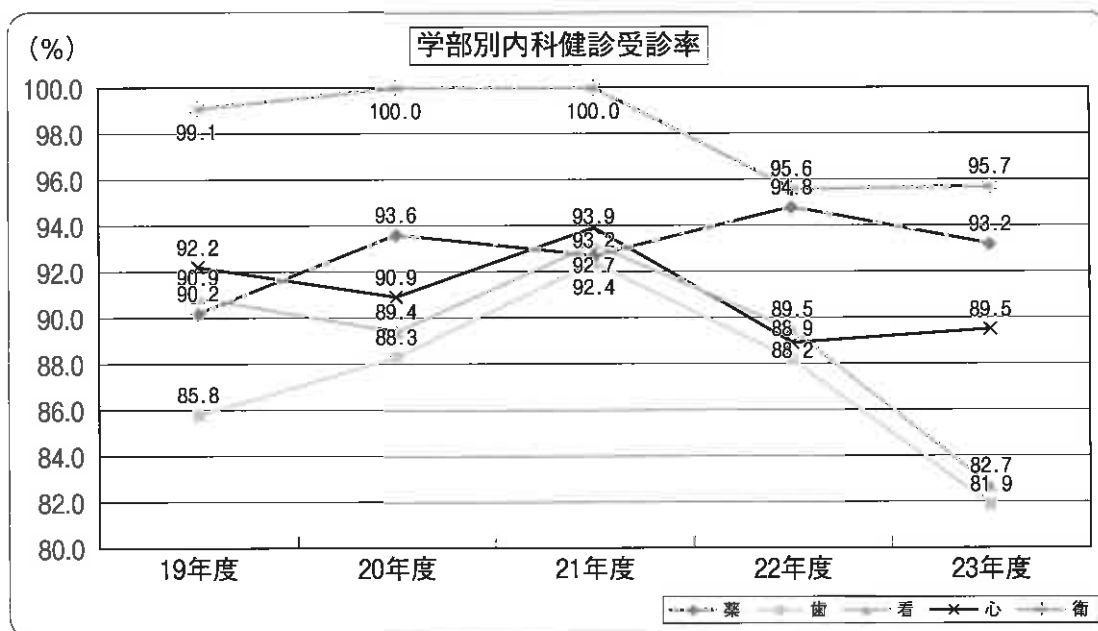


2. 学部別・検診別受診状況

①内科検診

(%)

	全体	薬	歯	看	心	衛
19年度	90.1	90.2	85.8	90.9	92.2	99.1
20年度	90.9	93.6	88.3	89.4	90.9	100.0
21年度	93.3	92.7	92.4	93.2	93.9	100.0
22年度	90.9	94.8	88.2	89.5	88.9	95.6
23年度	87.8	93.2	81.9	82.7	89.5	95.7

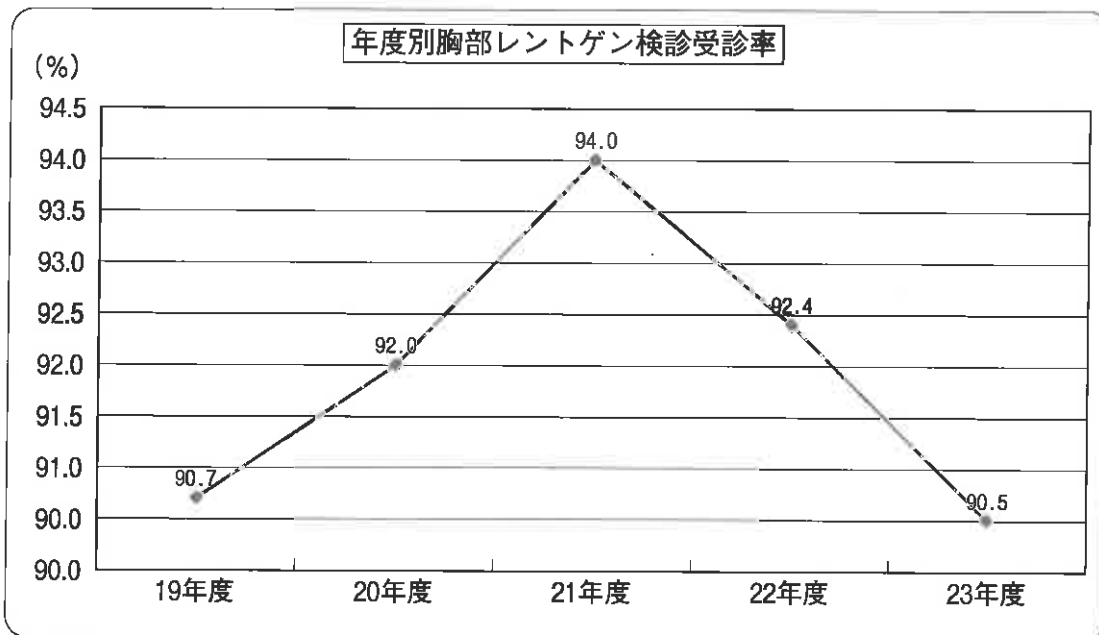
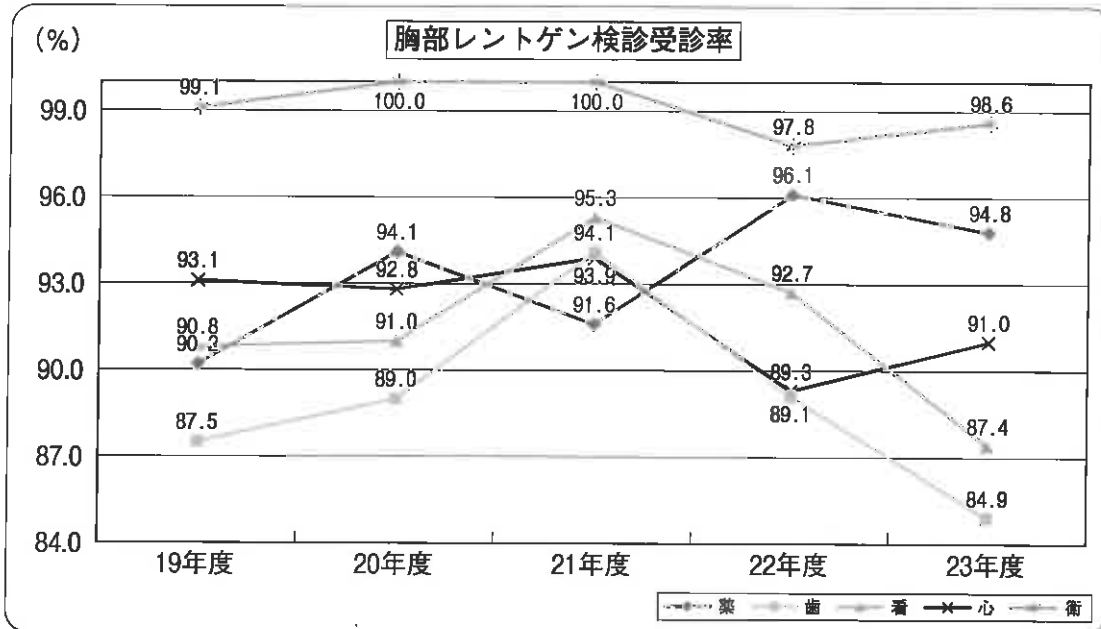


薬＝薬学部
 歯＝歯学部
 看＝看護福祉学部
 心＝心理科学部
 衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

②胸部レントゲン検査

(%)

	全体	薬	歯	看	心	衛
19年度	90.7	90.2	87.5	90.8	93.1	99.1
20年度	92.0	94.1	89.0	91.0	92.8	100.0
21年度	94.0	91.6	94.1	95.3	93.9	100.0
22年度	92.4	96.1	89.1	92.7	89.3	97.8
23年度	90.5	94.8	84.9	87.4	91.0	98.6

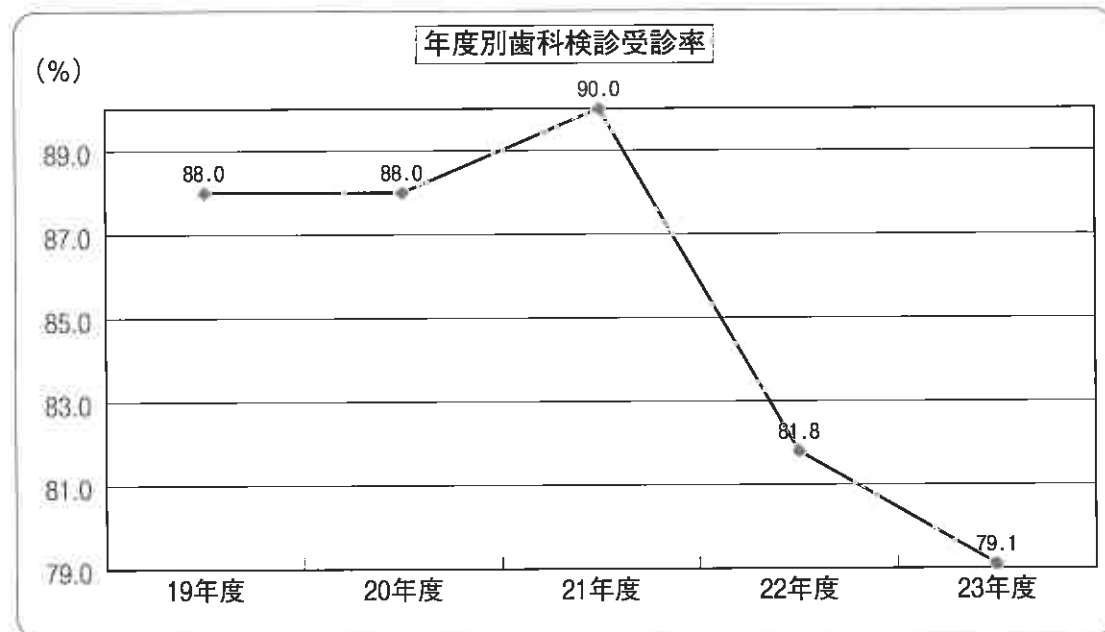
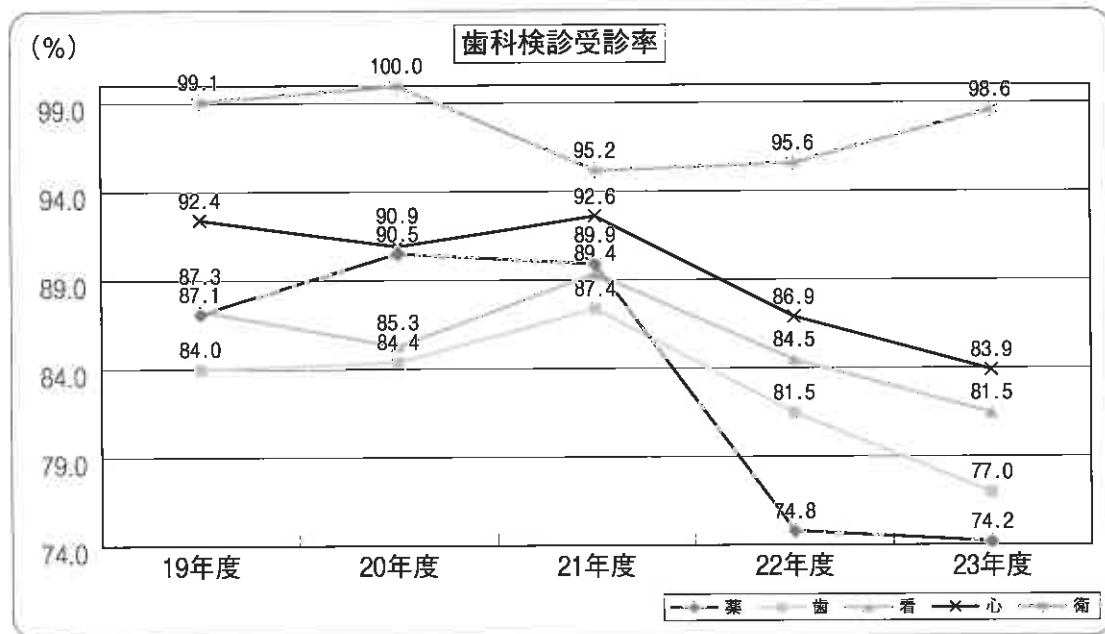


薬＝薬学部
 歯＝歯学部
 看＝看護福祉学部
 心＝心理科学部
 衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

③ 歯科検診

(%)

	全体	薬	歯	看	心	衛
19年度	88.0	87.1	84.0	87.3	92.4	99.1
20年度	88.0	90.5	84.4	85.3	90.9	100.0
21年度	90.0	89.9	87.4	89.4	92.6	95.2
22年度	81.8	74.8	81.5	84.5	86.9	95.6
23年度	79.1	74.2	77.0	81.5	83.9	98.6



薬＝薬学部
 歯＝歯学部
 看＝看護福祉学部
 心＝心理科学部
 衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

○平成23年度学生健康診断受診状況

1. 学部別受診状況

学部等	学年	学生数 対象者	内科検診			胸部X線検査			歯科検診			
			受診者		受診率	受診者		受診率	受診者	受診率		
			定期	他		計	定期				他	計
薬学部・大学院	1	189	178		178	94.2%	183		183	96.8%	176	93.1%
	2	209	194		194	92.8%	196		196	93.8%	165	78.9%
	3	181	149		149	82.3%	158		158	87.3%	148	81.8%
	4	160	155		155	96.9%	156		156	97.5%	146	91.3%
	5	135	135		135	100.0%	135		135	100.0%		
	6	141	138		138	97.9%	138		138	97.9%	120	85.1%
	修1											
	修2	5	1		1	20.0%	1		1	20.0%	1	20.0%
	博1	1	1		1	100.0%	1		1	100.0%	1	100.0%
	博2	2	2		2	100.0%	2		2	100.0%	2	100.0%
	博3	1	1		1	100.0%	1		1	100.0%	1	100.0%
小計	1024	954		954	93.2%	971		971	94.8%	760	74.2%	
歯学部・大学院	1	45	41		41	91.1%	41		41	91.1%	35	77.8%
	2	73	60		60	82.2%	61		61	83.6%	60	82.2%
	3	65	52		52	80.0%	58		58	89.2%	57	87.7%
	4	109	85		85	78.0%	86		86	78.9%	86	78.9%
	5	87	83		83	95.4%	83		83	95.4%	82	94.3%
	6	109	95		95	87.2%	97		97	89.0%	90	82.6%
	博1	13	5		5	38.5%	7		7	53.8%	2	15.4%
	博2	7	6		6	85.7%	6		6	85.7%		
	博3	14	6		6	42.9%	8		8	57.1%		
	博4	13	5		5	38.5%	7		7	53.8%		
	小計	535	438		438	81.9%	454		454	84.9%	412	77.0%
看護福祉学部・大学院	看1	113	96		96	85.0%	107		107	94.7%	101	89.4%
	看2	114	105		105	92.1%	108		108	94.7%	104	91.2%
	看3	122	107		107	87.7%	111		111	91.0%	107	87.7%
	看4	112	102		102	91.1%	105		105	93.8%	96	85.7%
	福1	74	69		69	93.2%	71		71	95.9%	68	91.9%
	福2	66	58		58	87.9%	63		63	95.5%	54	81.8%
	福3	60	40		40	66.7%	47		47	78.3%	42	70.0%
	福4	75	58		58	77.3%	57		57	76.0%	58	77.3%
	修1	20	10	4	14	50.0%	10	4	14	50.0%	5	25.0%
	修2	27	7	1	8	25.9%	8	1	9	29.6%	7	25.9%
	博1	1										
	博2											
	博3	4					2		2	50.0%		
	小計	788	652	5	657	82.7%	689	5	694	87.4%	642	81.5%
心理科学部・大学院	心1	85	76		76	89.4%	75	1	76	88.2%	76	89.4%
	心2	68	57		57	83.8%	59		59	86.8%	57	83.8%
	心3	57	54		54	94.7%	55		55	96.5%	53	93.0%
	心4	68	64		64	94.1%	64		64	94.1%	63	92.6%
	言1	84	75		75	89.3%	80		80	95.2%	80	95.2%
	言2	76	62		62	81.6%	64	1	65	84.2%	64	84.2%
	言3	59	57		57	96.6%	57		57	96.6%	57	96.6%
	言4	78	76		76	97.4%	76		76	97.4%	37	47.4%
	修1	10	10		10	100.0%	10		10	100.0%	10	100.0%
	修2	11	7		7	63.6%	7		7	63.6%	7	63.6%
	博1	1										
	博2	3										
	博3	2	1		1	50.0%	1		1	50.0%	1	50.0%
小計	602	539		539	89.5%	548	2	550	91.0%	505	83.9%	
衛	1	39	39		39	100.0%	39		39	100.0%	39	100.0%
	2	30	27		27	90.0%	29		29	96.7%	29	96.7%
	小計	69	66		66	95.7%	68		68	98.6%	68	98.6%
計	3018	2649	5	2654	87.8%	2730	7	2737	90.5%	2387	79.1%	

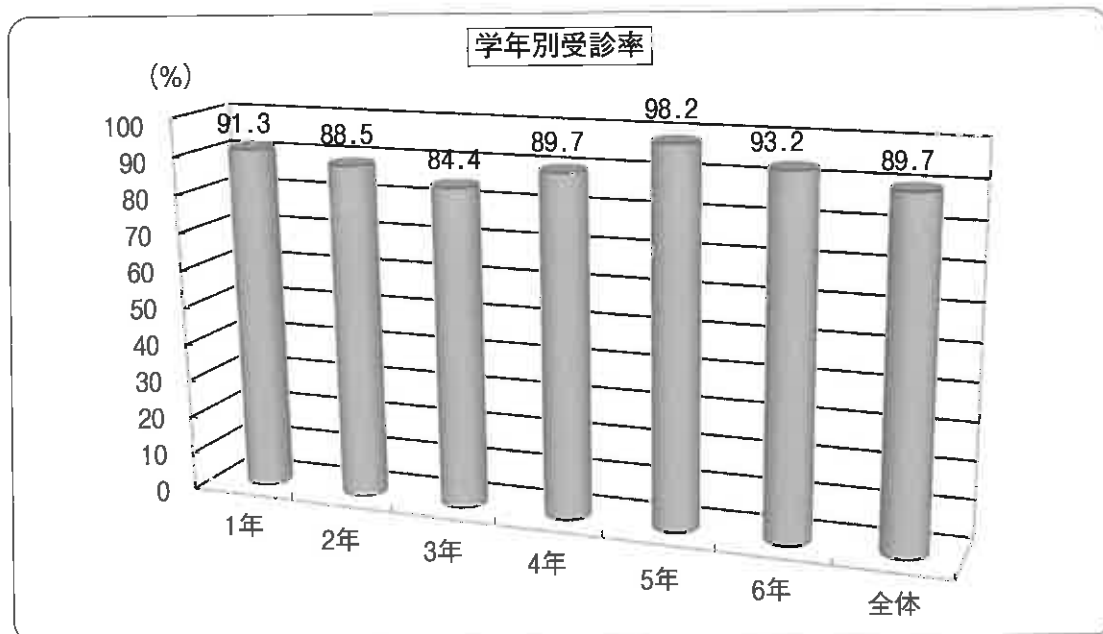
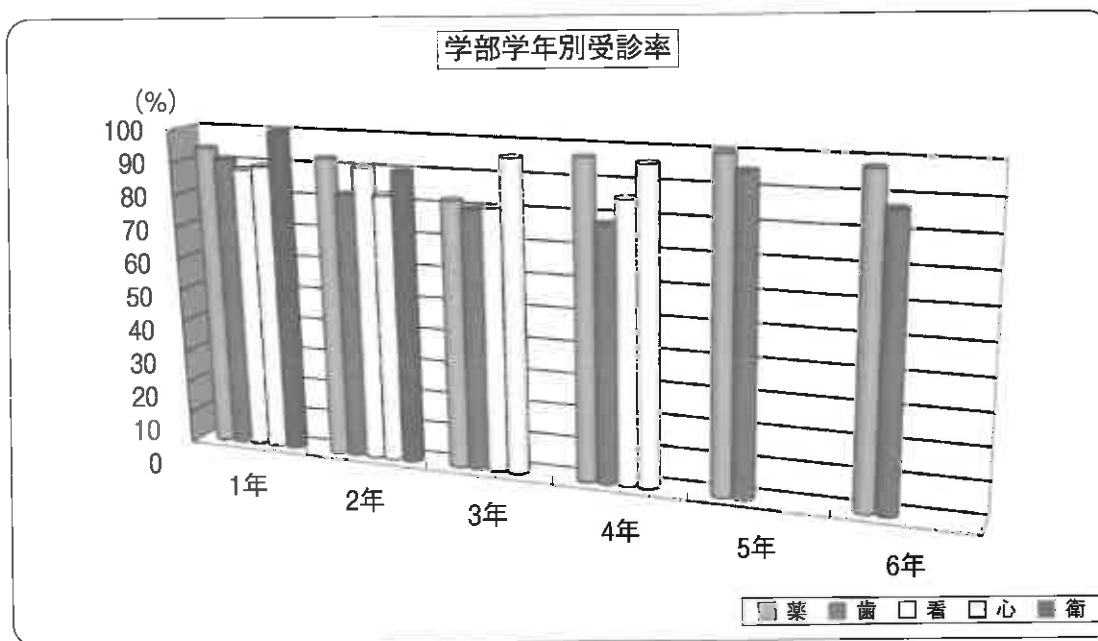
看＝看護学科
 福＝臨床福祉学科
 心＝臨床心理学科
 言＝言語聴覚療法学科
 衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校
 修＝大学院修士課程
 博＝大学院博士課程

2. 学年・検診別受診状況

①内科検診受診状況

(%)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
薬	94.2	92.8	82.3	96.9	100.0	97.9	93.5
歯	91.1	82.2	80.0	78.0	95.4	87.2	85.2
看	88.2	90.6	80.8	85.6			86.3
心	89.3	82.6	95.7	95.9			90.6
衛	100.0	90.0					95.7
全体	91.3	88.5	84.4	89.7	98.2	93.2	89.7

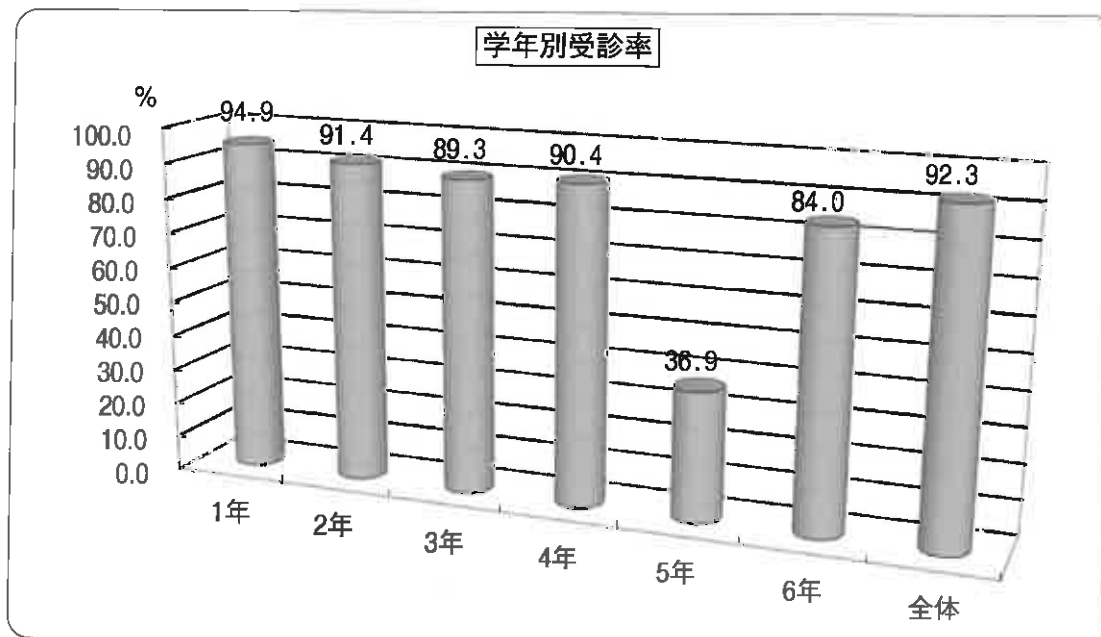
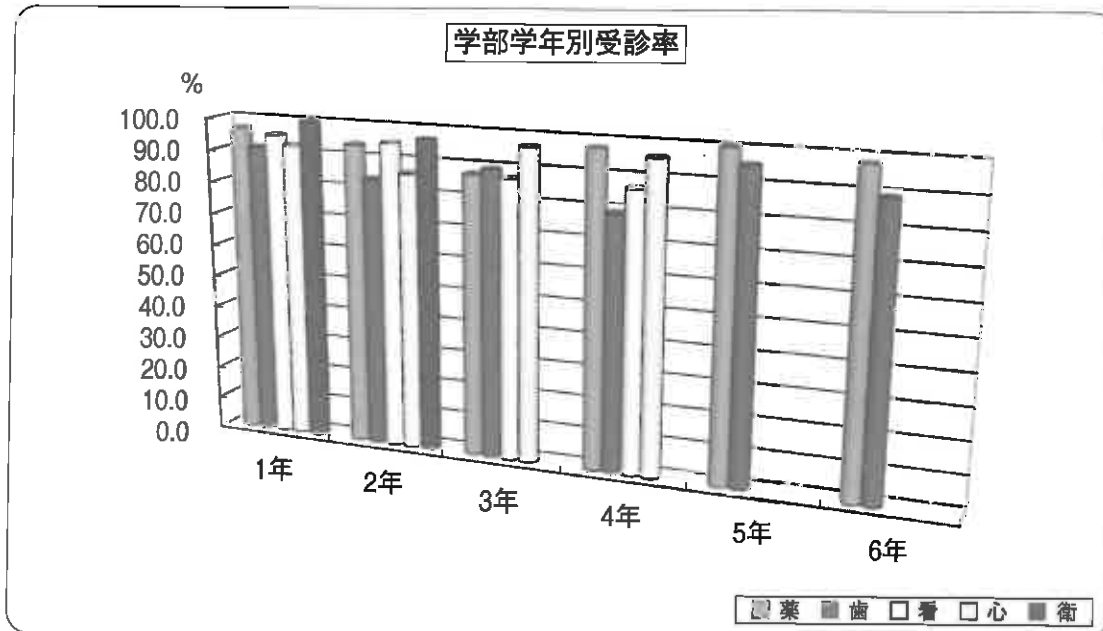


薬＝薬学部
 歯＝歯学部
 看＝看護福祉学部
 心＝心理科学部
 衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

②胸部レントゲン検査学年別受診状況 (学部生)

(%)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
薬	96.8	93.8	87.3	97.5	100.0	97.9	95.2
歯	91.1	83.6	89.2	78.9	95.4	89.0	87.3
看	95.2	95.0	86.8	86.6			90.9
心	92.3	86.1	96.6	95.9			92.5
衛	100.0	96.7					98.6
全体	94.9	91.4	89.3	90.4	36.9	84.0	92.3

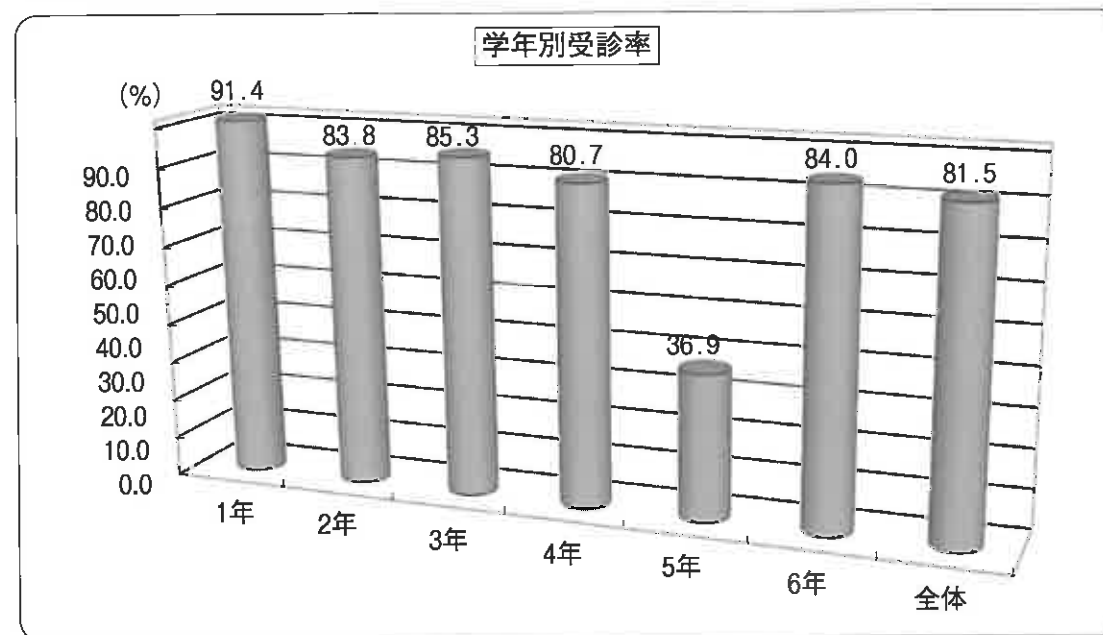
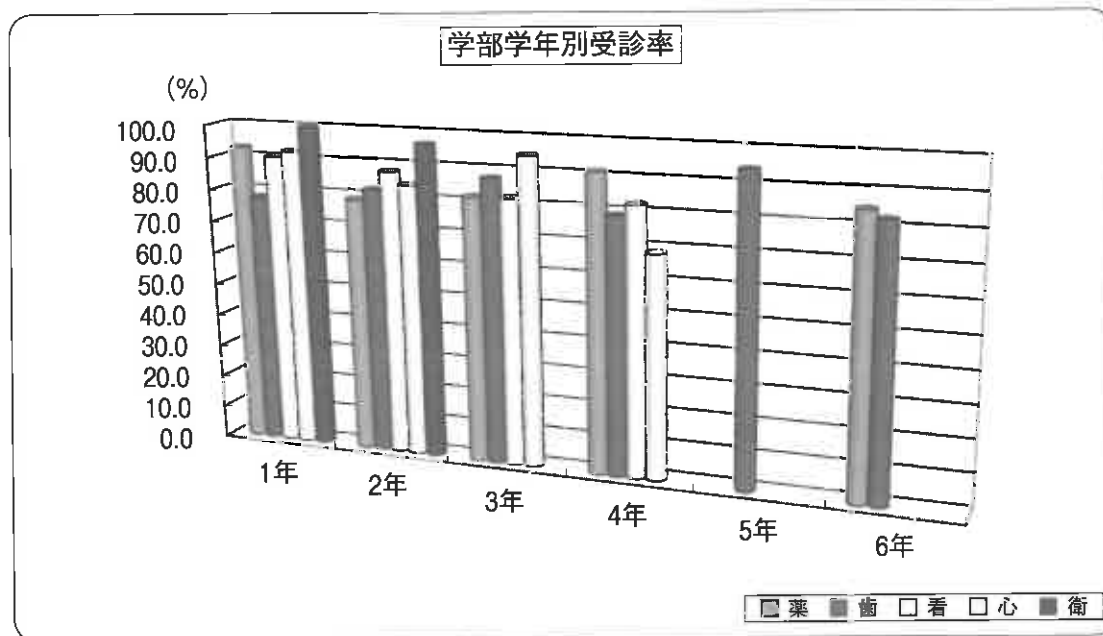


薬＝薬学部
 歯＝歯学部
 看＝看護福祉学部
 心＝心理科学部
 衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

③歯科検診学年別受診状況

(%)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
薬	93.1	78.9	81.8	91.3		85.1	74.4
歯	77.8	82.2	87.7	78.9	94.3	82.6	84.0
看	90.4	87.8	81.9	82.4			85.6
心	92.3	84.0	94.8	68.5			84.7
衛	100.0	96.7					98.6
全体	91.4	83.8	85.3	80.7	36.9	84.0	81.5



薬＝薬学部
 歯＝歯学部
 看＝看護福祉学部
 心＝心理科学部
 衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

3. 有所見者状況

学部等	学年	内科検診			胸部レントゲン検査				備考
		受診者	二次	有所見率	受診者	精検	要精検率	受診	
薬学部・大学院	1	178	6	3.4%	183				
	2	194	4	2.1%	196				
	3	149	4	2.7%	158				
	4	155	6	3.9%	156				
	5	135	1	0.7%	135				
	6	138	3	2.2%	138				
	修1								
	修2	1			1				
	博1	1			1				
	博2	2			2				
博3	1			1					
歯学部・大学院	1	41			41				
	2	60	1	1.7%	61				
	3	52	1	1.9%	58				
	4	85	3	3.5%	86				
	5	83			83				
	6	95	2	2.1%	97				
	博1	5			7				
	博2	6			6				
	博3	6			8				
	博4	5	1	20.0%	7				
看護福祉学部・大学院	看1	96	5	5.2%	107				
	看2	105	7	6.7%	108				
	看3	107	3	2.8%	111				
	看4	102	3	2.9%	105	2	1.9%	2	
	福1	69	5	7.2%	71	1	1.4%	1	
	福2	58			63	1	1.6%	1	
	福3	40	2	5.0%	47				
	福4	58	2	3.4%	57	1	1.8%	1	
	修1	14			14				
	修2	8			9				
	博1								
	博2								
	博3				2				
心理科学部・大学院	心1	76	4	5.3%	76				
	心2	57	2	3.5%	59				
	心3	54			55				
	心4	64	2	3.1%	64				
	言1	75	3	4.0%	80				
	言2	62	4	6.5%	65				
	言3	57	1	1.8%	57				
	言4	76			76				
	修1	10			10				
	修2	7			7				
博1									
博2									
博3	1			1					
衛	1	39			39				
	2	27			29				
計	2654	75	2.8%	2737	5	0.2%	5		

看＝看護学科

福＝臨床福祉学科

心＝臨床心理学科

言＝言語聴覚療法学科

衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

修＝大学院修士課程

博＝大学院博士課程

4. 血液検査有所見者状況

学部 学年等	対象者	受診状況		有所見状況		肝機能		血球他				血小板		備考	
		受診者	受診率	有所見者	率	有所見	率	貧血	率	その他	率	有所見	率		
薬	1	189	185	97.9%	101	54.6%	14	7.6%	11	5.9%	86	46.5%	3	1.6%	
	編3	9	9	100.0%	6	66.7%	2	22.2%	1	11.1%	4	44.4%			
	4	160	157	98.1%	91	58.0%	16	10.2%	11	7.0%	73	46.5%	1	0.6%	
	院	1	1	100.0%											
歯	1	45	39	86.7%	24	61.5%	7	17.9%	3	7.7%	19	48.7%	1	2.6%	
	編2	6	6	100.0%	3	50.0%					3	50.0%			
	4	109	93	85.3%	55	59.1%	23	24.7%	3	3.2%	45	48.4%	3	3.2%	
	院	13													
看	看護1	113	113	100.0%	30	26.5%	4	3.5%	8	7.1%	21	18.6%	2	1.8%	
	看護3	122	119	97.5%	59	49.6%	9	7.6%	4	3.4%	53	44.5%			
	編3	60	57	95.0%	27	47.4%	4	7.0%	2	3.5%	25	43.9%			
	福祉1	74	70	94.6%	43	61.4%	3	4.3%	7	10.0%	37	52.9%	3	4.3%	
	福祉3	21	8	38.1%	3	37.5%	3	37.5%			2	25.0%			
	院														
心	心理1	85	71	83.5%	36	50.7%	2	2.8%	3	4.2%	33	46.5%	1	1.4%	
	編3	1	1	100.0%	1	100.0%			1	100.0%					
	言語1	84	77	91.7%	38	49.4%	8	10.4%	4	5.2%	31	40.3%	4	5.2%	
	編3	10	10	100.0%	8	80.0%	1	10.0%	1	10.0%	6	60.0%			
	院	11	10	90.9%	3	30.0%	1	10.0%			3	30.0%			
衛	1	39	38	97.4%	13	34.2%	1	2.6%			13	34.2%			
	2	30	31	103.3%	16	51.6%	2	6.5%	3	9.7%	12	38.7%			
計	1182	1095	92.6%	557	50.9%	100	9.1%	62	5.7%	466	42.6%	18	1.6%		

薬＝薬学部

歯＝歯学部

看＝看護福祉学部

看護＝看護学科

福祉＝臨床福祉学科

心＝心理科学部

心理＝臨床心理学科

言語＝言語聴覚療法学科

衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

編＝編入

院＝大学院

5. 血液・感染症検査状況

学部 学年等	肝炎						感染症								備考		
	受診数	HBS-AG		HBS-AB		HCV-3		受診数	麻疹		風疹		水痘			ムンプス	
		(+)	率	(+)	率	(+)	率		(+)	率	(+)	率	(+)	率		(+)	率
薬 編3 4 院	185			2	1.1%			185	181	97.8%	170	91.9%	169	91.4%	116	62.7%	
	9							9	9	100.0%	9	100.0%	7	77.8%	5	55.6%	
	157			7	4.5%			157	150	95.5%	149	94.9%	147	93.6%	88	56.1%	
	1			1	100.0%			1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	
歯 1 編2 4 院	39			1	2.6%			39	37	94.9%	32	82.1%	34	87.2%	25	64.1%	
	6							6	6	100.0%	6	100.0%	6	100.0%	3	50.0%	
	93			12	12.9%			93	85	91.4%	81	87.1%	88	94.6%	52	55.9%	
看 看護1 看護2 看護3 福祉1 福祉3 院	113							113	112	99.1%	112	99.1%	105	92.9%	77	68.1%	
	113			8	7.1%												
	119			38	31.9%			119	118	99.2%	118	99.2%	114	95.8%	74	62.2%	
	70	1	1.4%	1	1.4%			70	68	97.1%	66	94.3%	68	97.1%	46	65.7%	
	57	1	1.8%	3	5.3%			57	56	98.2%	53	93.0%	55	96.5%	32	56.1%	
	8			4	50.0%			8	8	100.0%	8	100.0%	8	100.0%	8	100.0%	
心 心理1 編3 言語1 編3 院	71							71	67	94.4%	66	93.0%	68	95.8%	48	67.6%	
	1							1	1	100.0%							
	77			1	1.3%			77	77	100.0%	73	94.8%	72	93.5%	50	64.9%	
	10			1	10.0%			10	10	100.0%	9	90.0%	10	100.0%	5	50.0%	
	10							10	10	100.0%	8	80.0%	10	100.0%	10	100.0%	
衛 1 2	38							38	38	100.0%	34	89.5%	37	97.4%	37	97.4%	
	31			27	87.1%			31	30	96.8%	30	96.8%	30	96.8%	30	96.8%	
計	1208	2	0.2%	106	8.8%			1095	1064	88.1%	1025	84.9%	1029	85.2%	707	58.5%	

薬＝薬学部

歯＝歯学部

看＝看護福祉学部

看護＝看護学科

福祉＝臨床福祉学科

心＝心理科学部

心理＝臨床心理学科

言語＝言語聴覚療法学科

衛＝歯学部附属歯科衛生士専門学校

編＝編入

院＝大学院

6. 健康診断等の実施対象

	薬学部・大学院												歯学部・大学院												看護福祉学部・大学院											
	看護学科						臨床福祉学科						看護学科						臨床福祉学科																	
	1	2	3	編 3	4	5	6	1	2	3	編 3	4	5	6	1	2	3	編 3	4	修 博	1	2	3	編 3	4	修 博										
内科検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
身体計測	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
視力検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
X線検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
歯科検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
ツ反検査																																				
血液 A																																				
血液 B	○			○			○			○			○	○	○		○		○	○	○		○													
血液 C																																				
インフルエンザ				○		○																														

	心理科学部・大学院												衛	備考	
	臨床心理学科・大学院						言語聴覚療法学科・大学院								
	1	2	3	編 3	4	修 博	1	2	3	編 3	4	修 博			
内科検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全学年対象
身体計測	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
視力検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
X線検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
歯科検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ツ反検査	○			○			○			○					
血液 A															
血液 B	○			○			○			○			○	○	
インフルエンザ													○	○	

平成24年度 保健管理センター概況

平成24年

- 4月 血液検査（全学部および歯学部附属歯科衛生士専門学校の一部学年）
肝炎採血・ガイダンス（歯学部附属歯科衛生士専門学校）
健康診断（薬学部の一部学年）
- 5月 健康診断（全学部および歯学部附属歯科衛生士専門学校全学年）
肝炎ワクチン接種（歯学部および歯学部附属歯科衛生士専門学校の一部学年）
- 6月 肝炎ワクチン接種（歯学部の一部学年）
大学祭およびオープンキャンパス開催時の急病等対応
保健管理センター運営会議開催
- 8月 オープンキャンパス開催時の急病等対応
第50回全国大学保健管理協会北海道地方部研究集会参加
- 9月 血液検査（看護福祉学部の一部学年）
肝採血検査（心理科学部の一部学年）
オープンキャンパス開催時の急病等対応
- 10月 肝採血検査（歯学部の一部学年）
インフルエンザワクチン接種指導・勧奨（全学アナウンス・ホームページ等）
- 11月 肝炎ワクチン接種（歯学部の一部学年）
- 12月 感染性胃腸炎の予防に関する勧奨（全学アナウンス・ホームページ等）

平成25年

- 2月 保健管理センター運営会議開催
- 3月 保健管理センター年報（2012年版）発行

保健管理センター構成員

(平成24年度)

	氏 名	所 属 等
所長	家子正裕	歯学部 教授
副所長	飯塚健治	薬学部 准教授
運営委員会委員	島村佳一	薬学部 教授
運営委員会委員	伊藤修一	歯学部 准教授
運営委員会委員	高橋伸彦	歯学部 准教授
運営委員会委員	山田律子	看護福祉学部 教授
運営委員会委員	今野多美子	看護福祉学部 講師
運営委員会委員	中川賀嗣	心理科学部 教授
運営委員会委員	森 伸幸	心理科学部 准教授
運営委員会委員	伊藤昭英	個体差医療科学センター 教授
運営委員会委員	杉原佳奈	歯学部附属歯科衛生士専門学校 専任教員
運営委員会委員	高見裕勝	経営企画部 部長
運営委員会委員	小野寺貴洋	学務部 部長
保健師	長谷川純子	
看護師	黒田なをみ	
学生相談室 学生相談員	森近三智恵	
学生相談室 学生相談員	根本大輔	
事務所管	学務部学生支援課	

保健管理センター関連規程集

[保健管理センター規程]

平成7年11月28日制定

(目的)

第1条 保健管理センター（以下「センター」という。）は、本学園の学生及び職員の保健管理に関する業務を行うことを目的とする。

(事業)

第2条 センターは前条の目的を遂行するため、保健管理事業及び健康相談事業を行う。

(業務)

第3条 保健管理事業及び健康相談事業として、次の業務を行う。

- (1) 保健管理業務
 - ア 保健管理に関する実施計画の企画・立案
 - イ 定期及び臨時の健康診断並びにその事後措置
 - ウ 学内の環境衛生及び感染症の予防についての指導
 - エ 保健管理に関する調査研究
 - オ 応急措置
 - カ その他保健管理に関する必要な専門的業務
- (2) 健康相談業務
 - ア 健康に関する相談
 - イ 精神衛生に関する相談

(職員)

第4条 センターに、所長その他必要な職員を置く。

(所長)

第5条 所長は、本学教授のうちから、運営委員会の議を経て学長が委嘱する。

- 2 所長は、保健管理センターの業務を総轄する。
- 3 所長は、学校医を兼務する。
- 4 所長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(副所長)

第6条 副所長は、本学教授または准教授のうちから、運営委員会の議を経て学長が委嘱する。

2 副所長は、所長を補佐して保健管理センター業務全般に従事する。

3 副所長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(運営委員会)

第7条 センターの運営に関する具体的事項を審議するため、保健管理センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。運営委員会に関する規程は別に定める。

(分室)

第8条 必要があるときは、センターの分室を置くことができる。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経て、評議会が決定する。

附 則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

[保健管理センター運営委員会規程]

平成7年11月28日制定

(目的)

第1条 この規程は、保健管理センター規程第6条に基づき、保健管理センター運営委員会（以下「運営委員会」という）に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(組織)

第2条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 所長
 - (2) 副所長
 - (3) 各学部教授会で選ばれた教授を含む専任教員各2名
個体差医療科学センター運営審議会で選ばれた教授1名
歯学部附属歯科衛生士専門学校校長が推薦した専任教員1名
 - (4) 経営企画部長、学務部長
- 2 第1項第2号の委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
 - 3 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 4 運営委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めてその意見を聴くことができる。

(審議事項)

第3条 運営委員会は、センターの運営に関し次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 学生及び職員の保健管理の基本方針に関する事。
- (2) 年間事業計画に関する事。
- (3) 所長ならびに副所長の選考に関する事。
- (4) その他所長が必要と認める事項

(委員長)

第4条 委員長は所長をもって充てる。

- 2 委員長は委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名する委員が議長となる。
- 4 委員長が必要と認めるときは、運営委員会の議を経て委員以外の者を会議に出席させることができる。

(議事運営)

第5条 運営委員会は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

(改廃等)

第6条 この規程に定めるもののほか、必要な事項又は改廃については、運営委員会の議を経て評議会が決定する。

附 則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

健康診断は誰のため？

家子正裕*

北海道医療大学 保健管理センター所長

北海道医療大学歯学部 教授／北海道医療大学歯科内科クリニック副院長・内科医長

北海道医療大学病院臨床検査部長／北海道医療大学産業医

また保健管理センター年報の原稿を書く時期になりました。一年間の学生さん、教職員の皆さんの健康管理が一区切り付く時期です。春に健康診断を行い、その結果をまとめながら各自に通知し、二次健診を促す。さらには、医療人としての最低限のエチケットである各種ワクチンによる予防接種を行う。そして、ウイルス抗体を確認し、いつでも実習に参加できるようにする。その間に、インフルエンザなどの集団感染対策に追われる。毎年繰り返される内容ですが、その年その年で人と時間をかけて対処しなければならない事も沢山出てきます。

これだけ苦勞した健康診断などの業務が、対象となった学生さん、教職員の皆さんにどれだけ役立っているのでしょうか。「義務だから健診を受ける」「受けるだけで結果はみてない」などの声が聞こえてきます。ほんの少数の方々でしょうか…。

個人の健康情報は、最大の個人情報の一つです。私どもは、その扱いにかなり神経を使っています。そして健康は決してお金では買えない貴重な個人の財産です。健康を軽視している方をみるとがっかりしてしまいます。その方が（今後）医療に従事する方であれば尚更です。

健康診断は誰のためでしょう？。おそらく100人が100人とも「自分のため」と答えるでしょう。でも本当に自分のためにしている方は、半分位ではないでしょうか。どうぞ、偶然このページを読まれた方、ご自身の健康診断をご自分の将来のために役立てて下さい。「今、対策をたてれば、将来大きな病気で苦しむ事はなくなる」ための健康診断です。今何もなくても、また小さな事でも、センターにご相談して頂きたいと思えます。もちろん二次健診も。

健康診断は、あなた自身の大切なものです。



*E-mail : iekom@hoku-iryo-u.ac.jp

保健管理センター業務案内

◇当別キャンパス薬学部棟 2 階

【開室時間】

月曜日～金曜日 10:00～17:00

【保健管理業務】

1. 保健管理に関する実施計画の企画・立案
2. 定期及び臨時の健康診断並びにその事後措置
3. 学内の環境衛生及び感染症の予防についての指導
4. 保健管理に関する調査研究
5. 応急措置
6. その他保健管理に関する必要な専門的業務

【健康相談業務】

1. 健康に関する相談
2. 精神衛生に関する相談

◇学生相談室

*当別キャンパス <薬学部棟 2 階（保健管理センター内）>

【開室時間】

水曜日・木曜日 9:30 ～ 16:30

*札幌あいの里キャンパス <心理科学部 4 階>

【開室時間】

月曜日・水曜日 9:30 ～ 16:30

【利用方法】

1. 学生支援課（札幌あいの里キャンパスは心理科学課）のカウンターで予約
2. 電子メールで予約 e-mail: shien@hoku-iryo-u.ac.jp
3. WEBで予約（学内専用）
4. 学生相談室に直接行く（相談予約者が優先）



北海道医療大学保健管理センター年報
第5号(2012年)

発行 北海道医療大学保健管理センター
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
電話 (0133) 23-1211
FAX (0133) 23-1341
URL <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~hoken/index.html>
E-mail shien@hoku-iryu-u.ac.jp
発行責任者/編集人 家子正裕
発行日 2013年3月1日



HEALTH COUNSELING AND ASSESSMENT CENTER
Volume 5 2012